

SLでつながる 人とまち

Steam Locomotive



(千頭会場) ① SL の雄姿を狙うカメラマン
(笹間渡駅) ② 鉄道写真教室
③ 鉄橋を渡る SL (北五和地区)
④ SL に手を振る皆さん
(新金谷会場) ⑤ SL、親子ふれあい号で千頭へ

10月7日(金)、SL 転車台が、皆さんの前で披露目。
SL 転車台セレモニーでの転車披露(写真右)



市は昨年に引き続き、観光庁が実施する「家族の時間づくりプロジェクト」の取り組みとして、10月7日(金)に市内の小中学校などを休業日とし、10日(月・祝)までの4連休を創出しました。

今年は、川根本町および静岡市と連携し、近隣市町の協力を得て、市内各所や川根本町を会場に SL フェスタ 2011 を開催し、地域の資源である SL に家族で親しむとともに、その価値を再確認しました。

このフェスタでは、大井川鐵道新金谷駅の SL 転車台が披露され、SL を見て体験できる、新しい観光名所ができました。

開催

見た 乗った 触れた

10 / 9 SL フェスタ in かなや



鉄道模型コーナー

斉藤貴之さん・香里さん・彩心ちゃん(河原一丁目)
「娘が電車に興味を持ったのにはびっくりしました。私たちも鉄道好きになりました」



鉄道写真教室

朝倉一樹さん・真理さん(長野県)
「鉄道写真を撮影することが好きです。大井川鐵道は、全国からも交通の便が良くて来やすいです」



SL 乗車

花村浩さん・紀子さん・百音さん(静岡市葵区)
「千頭会場のセレモニーで宣言文を読んで緊張しました。SL をこれからも大切にしていきたいです」



転車台セレモニー参加

暮林響香さん・由利子さん(金谷泉町)
「仕事を休み、昨年に続き、今年も家族で休暇を過ごしています。家族で過ごす時間は大切ですね」



(ローズアリーナ会場) ⑥
 鉄道模型コーナー⑦ポー
 ネルンド(室内遊び場)
 ⑧ DINO-ALIVE-SHOW (恐
 竜ショー) ⑩ミニ SL **(SL
 フェスタ IN かなや)** ⑨金
 谷坂道玉ころがし



SLフェスタ2011

10/7・8・9・10 新金谷・ローズアリーナ・千頭会場
 10/8 SL サミット (大井川鐵道 SL 客車内)



SL フェスタ in かなや
 平田澄代さん(金谷天王町)
 「大勢のお客さんの前で、
 楽しく踊れました。SL
 で、地域がもっとにぎや
 かになればと思います。
 SL は地域の宝物です」



恐竜ショー
 土居 雅彦さん・仁胡菜
 ちゃん (宝来町)
 「恐竜ショーは本物みた
 いでした。娘が怖がって
 いましたが、面白かった
 です」



ポーネルンド(室内遊び場)
 高山真輔さん・範子さん・
 蒼輔くん (大津通)
 「ポーネルンドはとても
 面白く、市内(本通三丁
 目)に、この遊具が出来
 る事が楽しみです」



鉄道模型コーナー
 曾根みきさん・脩矢くん
 (船木)
 「古い SL から新しい電
 車まで、いろいろ楽しめ
 て面白かったです。来年
 も期待しています」

SLサミット開催

10月8日(土)、SL(蒸気機関車)という共通の地域の財産を持つ全国7つの市町が集い、SLサミットを開催しました。大井川鐵道のSLの客車に揺られながら熱い思いを伝え合い、互いの連携と協力を確かめました。また、千頭会場ではサミットで採択された“SLの汽笛がこだまする”ふるさと宣言が発表されました。※各市町長の発言の要旨を紹介します。

SLでつながる
人とまち



もおかし
い だりゅういち
栃木県真岡市
市長 井田隆一

SLが年中通して運行することで、豊かな沿線の四季とSLの風景が楽しめることが大きな観光資源です。今後は、市町間の総合防災協定も視野に入れていく必要があると思います。



ちちふし
く きくにやす
埼玉県秩父市
市長 久喜邦康

SLを活用した映画・テレビ番組のロケーション誘致活動を行っています。SLファンが各地を周遊する企画など、SLを活用して、いろいろな展開を図っていきたいと思います。



つわのちょう
したもりひろゆき
島根県津和野町
町長 下森博之

SLの運行が観光にプラスになり、存続することに大きな文化的価値があることを確認しあうことが大切です。今後も情報交換しながら存続に向けて、協力していきたいと思います。



ひとよしし
たなかのぶたか
熊本県人吉市
市長 田中信孝

D51型蒸気機関車の復活運行に向けた取り組みを全国へ発信するため、情報の共有、発信の協力をお願いします。また、SLが運行している肥薩線の世界遺産登録を進めています。



千頭会場(川根本町)で行われたSLサミット開催記念セレモニー。

“SLの汽笛がこだまする”ふるさと宣言を読み上げた小学生の皆さん。



私たちは宣言します

輝く未来に向けて

“SLの汽笛がこだまする” ふるさと宣言 2011

「私たちは、SL サミット開催の日にあたり、SL を共有の地域資源として、大切に守り後世に引き継いでいくとともに、相互に連携・協力して地域の活性化と振興に活かしていくことをともに誓い、ここに宣言します。」

- 一 汽笛がこだまするように、まちとまちが響き合い、交流が広がる地域づくりを推進します。
- 一 坂を上る SL のように、ひととまちが力を合わせ、活力に満ちた地域づくりを推進します。
- 一 列車が連結するように、ひととひとが手をつなぎ、絆を大切にする地域づくりを推進します。

平成 23 年 10 月 8 日

SL フェスタ 2011
SL サミット記念セレモニー参加者一同



国土交通省

官房審議官 田端 浩

各地域の熱意と取り組みに感謝します。国はSLを貴重な観光資源として支援していきたいと思います。観光振興には、長期滞在で、地域の良さを味わってもらうことが重要です。



島田市

市長 桜井勝郎

共有の地域資源であるSLを活用した地域づくりを連携・協力して進めていきたいと思っています。今後も関係市町による情報交換ができる場が確保できるよう協力をお願いします。



川根本町

町長 佐藤公敏

SLを中心に、大井川流域の温泉郷、お茶街道の構築、アプト式鉄道と連携して観光につなげていきたいと思っています。そのためにも、行政、鉄道事業者、住民の交流が大切です。



北海道沼田町

副町長 神 憲彦

町で保存保管している駅や蒸気機関車を大切に維持していきたいと思っています。SLのつながり以上に経済的交流が大切だと考えており、地域間の交流を深めていきたいと思っています。



大井川鐵道 SL 展望車内では、茶娘が金谷茶でSLサミット出席者ののどを潤しました。



大井川鐵道 SL 展望車内で行われたSLサミット、歓談の一コマ。